

(二六〇四)

五 慶長九年十二月 新田開発につき牛込大膳あて秋元泰朝宛

行状〔C〕

其方新田へ最前に被_レ罷移、「人移し被_レ申候処祝_レ着候、猶此」
上之儀、無_レ油断一人あつめ「可_レ被_レ申候処肝要_レに候、其ほうび」
として、百石可_レ出候者也、仍如_レ件

秋元但馬守

慶長九年辰極月六日

泰朝 (花押)

牛込大膳殿